

平成27年 8月 10日

井原市議会議長

上野安是 様

井原市議会議員

上野安是

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成27年7月27日～7月28日 (2日間)
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡市博多区博多駅東 「リファレンス 駅東ビル」
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	地方議員研究会主催セミナー in 博多 「フレキシショナル議員のための基礎講座シリーズ」
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師：永田潤子氏 (大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授)
5. 活動内容	別添のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



行政改革と議会

民間は、市場があるために、売上によりニーズを充てているかどうか分かる

行政経営の留意点

1. 経営品質は常に劣化する危険性
住民意識と乖離する危険性

2. 経営革新(イノベーション)が起りにくい

3. 無駄や非効率が発生しやすい
改革意欲の減退を引き起こしやすい



- ① 民間経営手法の導入(効率的に、効果的に)
- ② 自律的な経営
- ③ 市民参画 / 市民協働

議会の役割

5段階のアカウントビリティ

第一段階 合規性に関するアカウントビリティ
(決められたとおり執行しているか)

第二段階 プロセスに関するアカウントビリティ
(適切な手段を選択しているか)

第三段階 パフォーマンスに関するアカウントビリティ
(効率的な運営がなされているか)

第四段階 施策に関するアカウンタビリティ
(施策の目標が適切に設定され、達成されているか)

第五段階 政策に関するアカウンタビリティ
(政策の妥当性、政策目標の達成度はどうか)

地域活性化、地域の課題解決

「内発的発展」とは、

地域の企業や個人が主体となり、地域の資源や人材を利用して、地域内で付加価値を生み出し、種々の産業の連携をつけて、社会的余剰(利益と租税)を出来りだけ地元に戻元し、地域の福祉、教育、文化を発展させた方法。

事例から

隠岐島・海士町... ないものはない、存していい。

益田市 匹見町... 楽しく働いてヨーロッパ旅行に行こう。

今治市... 地域でとれただけ手をなくすることができた。

横浜市 北仲... 価値を掘り起す。

共通する要素

1. 地域資源の掘り起し(見直し)
2. リーダーの存在
3. 地域のビジョンの共有
4. 外部の目、外部参加者と内部者の役割分担
5. テイク・オフを目指した補助金等外部資金の活用

↓
地域全体での課題への取り組み

行政評価と地域での課題の見える化

目的：経営方針の取り組みについて、自己評価と市内部での
横断的な二次評価および行政評価委員会での外部評価と
併せてにより、その評価結果を戦略・具体的取組や経営
方針の見直しに活用するとともに、予算編成や施策の選択
と集中など、市政運営に反映する。

↓

ただし改善には効果があっても、現課の職員で事業
をスクラップすることは困難。

地域課題の見える化

1. 問題の発見：データ、事実、インタビュー
→ 「今の状況、状態」
2. あるべき姿を描く
→ 「地域のビジョン、目標」
3. 取り組みを始める
4. 評価する
→ 「できたこと、課題が判る」

マーケティングの視点を活かした住民へのコミュニケーション

参加の五段階

- ⑤ パートナーシップ
- ④ 意味のある応答
- ③ 形だけの応答
- ② 意見聴取
- ① 情報提供

「日々の出来事の中にたくさんのヒントが隠れている。」

「コミュニケーション・デザインのヒント」

ファシリテーション型 リーダーシップ

ファシリテート：「促進する。容易にする。円滑にする 助長する」

・ファシリテーションのスキル

【ステップ1】 場をつくり、つなげる (アイスブレイク)

= 協働プロセスをデザインする技術

- ・ 体を心をはぐす。(深呼吸、ストレッチ、笑顔)
- ・ 互いをよく知る。(自己紹介、他己紹介)

<ブレインストーミング>

1. アイデアの質より量 (スピード重視)
2. 他人のアイデアを批判しない

【ステップ2】 問いかけ、引き出す

= 共感のコミュニケーションの技術

<理解のコミュニケーション>

- ・ まず結論から
- ・ 見出しを先に
- ・ 自分を理解してもらうより 相手を理解するほうが先

<共感のコミュニケーション>

- ・ 傾聴・批判しない
- ・ 復唱・相手の内容をよく聞いて 要約して
ものを

<メラビアン効果>

- ・ 非言語

ステップ3 噛み合わせ、整理する

→ 議論を構造化する技術

・ツリ型、カークル型、7Q型、マトリクス型

ステップ4 ついで、まとめ

→ コンフリクトマネジメントの技術

・服従、妥協、競争、画解

チームの機能するまで

① 形成期：メンバーが集まり、関係性を築いていく時期

② 混乱期：メンバーの考え方の枠組みや感情がぶらり合う時期

③ 統一期：共通の規範や役割分担が出来上がる時期

④ 機能期：チームとして機能し、成果を出していく時期

重要なことは必ずグラウンドルールを決めておくこと。

最後は〇〇が決めるのか、多数決で決める

所感 議会、議員としての役割を再認識できた。

行政のマネジメントサイクルから抜けてきたものをうまくカバーするとともに、市民ニーズをとらえて施策、政策に結びつけることについて、情報発信も含め、しっかり役割、責任を果たしていかなければならない。

以上

平成 27年 8月 10日

井原市議会議長

上野安是 様

井原市議会議員

上野安是

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成27年 7月29日(水)
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡市博多区博多駅東 「リファレンス 駅東ビル」
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	地方議員研究会主催セミナー in 博多 「元武雄市長 樋渡啓祐氏 特別講演」
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師：樋渡啓祐氏
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

地方創生、地方活性化にむけて

- 100人いて何人の人が井原市を知っているだろうか
 - = 知られていないということは町にパワーがないということ
 - = 新聞の見出しを考えて行動することが必要
 - = あくまで議会が政策決定の場であり、その見せ方が大事

◦ 戦略00 情報収集

= さまざまなツールを使い、情報をかき集める。

◦ 戦略01 組合せ

= HP × Facebook、図書館 × CCC (カルチャー・コミュニケーション・センター)
のように展開する上での組合せが重要

◦ 戦略02 スピード

= 新たな公共財はスマホ。

「皆さんが望んでいる情報を発信する」ことが重要

◦ 企画のプロセス

= 守(守る) → 破(発展) → 離(革命) → 守

◦ 一番伝えたいことは

= 物語を共有すること
= 見える化
= ストーリーをヒストリーに

④所感 議会、議員として日々、かり情報発信をしていくように思っています。